

神根中だより

～聴き合い、学び合える居心地の良い学校～

令和5年7月号

学校教育目標
主体的に学び合い
心豊かでたくましい生徒



川口市立神根中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

高齢者に優しい神根中 ～「福祉体験学習」と「認知症サポーター養成講座」～

校長 松村 一人

1学期の各学年の校外行事、「1年・川越校外学習」「2年・キッザニアでの職場体験学習」「3年・修学旅行」は、大きな成果をあげて、無事に終了しました。保護者の方々をはじめ関係の皆様にご感謝申し上げます。

さて、今回は神根中学校の人権教育の一つである「福祉体験学習」と「認知症サポーター養成講座」を紹介します。

【福祉体験学習】

高齢者との相互理解を深めるため、川口市神根東地域包括支援センターと連携して、5つの体験型学習プログラムを行い、高齢者が日々、どのように感じ、どのような苦勞をしているのかを理解し、地域の高齢者への思いやりの心をもち、お互いの違いを認め合うことで生まれる「協力する心」の醸成を図ります。

①車椅子体験

生徒が2人1組となり、1人が高齢者及び足が不自由な方の役、1人が介助者の役となります。

②高齢者の視覚と触覚を感じよう！

生徒はゴム手袋をつけて物をつかんでみたり、紙幣や硬貨を数えたりします。
また、見えづらい眼鏡をかけ、新聞や雑誌を読みます。



③高齢者の歩行体験

身体に重りをつけ、太ももと首をロープで固定し、腰が曲がった状態での歩行の大変さや、体が重く、思うように動けない感覚を体験します。

〔高齢者の歩行体験〕

④高齢者と会話しよう！

生徒は2人～4人グループとなり、高齢者3名の方と会話を楽しみます。高齢者の方が何度も同じ質問を繰り返したり、高齢者の方の声が聞き取りづらいときに、どのように高齢者に寄り添うかを考えながら会話を行います。

⑤足が不自由な方の気持ちを理解しよう！

生徒は膝が曲がりにくいプロテクターを片足着用し、2人1組で階段を上り下りします。

【認知症サポーター養成講座】

川口市神根東地域包括支援センターの認知症サポートプログラムを受講することで、認知症に対する偏見や間違った認識をなくし、正しい知識の元、「認知症を理解した上での接し方」や「認知症を支える人の気持ちに寄り添う気持ち」を学習し、地域に住んでいる認知症の方をサポートしていく心の醸成を図っています。

神根中は、人権教育を推進して、高齢者にも優しい生徒の育成をしています。今後も本校へのご支援、ご協力、応援をお願いいたします。



〔埼玉県 認知症サポーター証〕